

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社

コード番号 9478 URL <http://www.sehi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部長 (氏名) 松村 真一

TEL 03-5362-3700

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,637	0.8	△48	—	△66	—	△71	—
25年3月期第1四半期	1,624	△1.9	23	—	7	—	7	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △114百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4.45	—
25年3月期第1四半期	0.47	0.47

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首におこなわれたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,229	3,419	33.0
25年3月期	9,371	3,565	34.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,049百万円 25年3月期 3,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	1.5	100	130.9	60	—	35	—	2.19
通期	7,100	1.6	280	333.1	200	—	130	—	8.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	18,636,800 株	25年3月期	18,636,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	2,641,700 株	25年3月期	2,641,700 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	15,995,100 株	25年3月期1Q	15,869,100 株
----------	--------------	----------	--------------

（注）当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな経済政策への期待から円高是正や株価回復が進み、個人消費が底堅く推移するなど、景況感に改善の動きが見られました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高1,637百万円(前年同期比0.8%増)、営業損失48百万円(前年同期は営業利益23百万円)、経常損失66百万円(前年同期は経常利益7百万円)、四半期純損失71百万円(前年同期は四半期純利益7百万円)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、オンライン経由での書籍販売や電子書籍販売が好調だった一方、取次経由での書籍販売や広告売上の不振、イベント開催の順延などにより、売上高は585百万円(前年同期比0.1%増)と前年同期比並となりました。セグメント利益(営業利益)は、メディア・出版関連共に粗利益率が低下したため、29百万円(前年同期比54.6%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、前期に引続き外資系クライアントからの引き合いが総じて底堅く推移した結果、売上高は206百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益(営業利益)は33百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、事業環境を勘案してスマートフォンコンテンツ・メディア事業立ち上げのための積極的な先行投資を前期から継続して実施したことなどにより、売上高287百万円(前年同期比11.3%増)、セグメント損失(営業損失)61百万円(前年同期はセグメント利益17百万円)となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、前期に実施した抜本的なリストラ策(不採算店舗の閉鎖・譲渡、管理部門経費圧縮)の効果などにより、売上高は315百万円(前年同期比13.6%減)、セグメント利益(営業利益)は15百万円(前年同期はセグメント損失21百万円)となりました。

教育・人材事業におきましては、クラウドサービス売上や人材紹介・研修事業が好調に推移し、売上高は232百万円(前年同期比11.1%増)となりました。利益面では、主に研修事業の利益率が低下したことなどにより、セグメント損失(営業損失)9百万円(前年同期比損失2百万円増)となりました。

その他の事業(注)におきましては、売上高11百万円(前年同期比89.2%増)、セグメント利益(営業利益)6百万円(前年同期はセグメント損失3百万円)となりました。

(注) 当第1四半期連結累計期間及び前第1四半期連結累計期間における「その他の事業」には、有価証券投資事業の業績を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、その他流動資産29百万円増加、仕掛品26百万円増加並びに受取手形及び売掛金208百万円減少を主因に、前連結会計年度末比141百万円減の9,229百万円となりました。負債については、その他流動負債140百万円増加及び有利子負債71百万円減少を主因に、前連結会計年度末比4百万円増の5,810百万円となりました。純資産については、利益剰余金57百万円増加、資本剰余金160百万円減少及びその他有価証券評価差額金40百万円減少を主因に、前連結会計年度末比146百万円減の3,419百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は、平成25年5月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701	2,719
受取手形及び売掛金	1,646	1,437
有価証券	20	20
営業投資有価証券	597	608
商品及び製品	1,021	1,015
仕掛品	103	129
原材料及び貯蔵品	14	16
繰延税金資産	81	77
その他	110	139
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	6,295	6,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,583	1,619
減価償却累計額	△744	△761
建物及び構築物（純額）	839	858
土地	1,089	1,089
その他	869	888
減価償却累計額	△801	△797
その他（純額）	67	91
有形固定資産合計	1,997	2,038
無形固定資産		
のれん	15	13
その他	46	43
無形固定資産合計	62	57
投資その他の資産		
投資有価証券	292	228
敷金及び保証金	429	423
繰延税金資産	154	178
その他	146	145
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,015	968
固定資産合計	3,075	3,065
資産合計	9,371	9,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	413	407
1年内償還予定の社債	754	754
短期借入金	1,066	1,037
未払法人税等	24	11
賞与引当金	39	21
返品調整引当金	151	118
その他	490	630
流動負債合計	2,940	2,980
固定負債		
社債	1,823	1,738
長期借入金	667	709
退職給付引当金	221	228
役員退職慰労引当金	73	73
資産除去債務	30	30
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	40	41
固定負債合計	2,864	2,829
負債合計	5,805	5,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,406	1,406
資本剰余金	1,886	1,725
利益剰余金	371	428
自己株式	△613	△613
株主資本合計	3,051	2,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	86
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	141	101
新株予約権	5	5
少数株主持分	367	364
純資産合計	3,565	3,419
負債純資産合計	9,371	9,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,624	1,637
売上原価	1,092	1,086
売上総利益	531	550
返品調整引当金戻入額	25	33
差引売上総利益	557	584
販売費及び一般管理費	534	632
営業利益又は営業損失(△)	23	△48
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	1	—
その他	3	2
営業外収益合計	5	5
営業外費用		
支払利息	13	12
支払保証料	5	4
その他	2	6
営業外費用合計	21	23
経常利益又は経常損失(△)	7	△66
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険差益	8	—
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15	△66
法人税、住民税及び事業税	6	4
法人税等調整額	17	3
法人税等合計	24	7
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8	△74
少数株主損失(△)	△15	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7	△71

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8	△74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△40
その他の包括利益合計	△11	△40
四半期包括利益	△19	△114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3	△111
少数株主に係る四半期包括利益	△15	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	計				
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	584	201	257	364	209	1,617	6	1,624	—	1,624
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8	—	26	—	3	38	—	38	△38	—
計	593	201	284	364	212	1,656	6	1,662	△38	1,624
セグメント利益又はセグメント損失(△)	65	32	17	△21	△7	87	△3	84	△61	23

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△61百万円には、セグメント間の内部取引消去11百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△72百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	計				
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	585	206	287	315	232	1,625	11	1,637	—	1,637
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12	0	23	—	5	41	—	41	△41	—
計	597	206	310	315	237	1,667	11	1,679	△41	1,637
セグメント利益又はセグメント損失(△)	29	33	△61	15	△9	7	6	13	△62	△48

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△62百万円には、セグメント間の内部取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△72百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。